

＜業務内容＞

1 作業準備

作業前に次の事項を必要に応じ行う。

- (1) プールの構造、材質の確認
- (2) 校舎とプール間における分岐電源の復旧通電
- (3) 校舎とプール間における給水配管の復旧通水
- (4) バルブ専用ハンドルの確保
- (5) プール各種バルブ（排水、水位調整、循環水抜、循環切替）の開放又は閉鎖
- (6) 加圧ポンプの作動
- (7) 電磁弁の閉鎖
- (8) 汚水ポンプの作動

2 作業内容

- (1) ゴミの撤去
プール内に散在する枯葉、小石等ゴミを除去する。
- (2) 玄関ホール・トイレ等の床面
プール室内と玄関ホールやトイレ等の床面が連続している場合は、形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
- (3) スキマー
プール内のスキマーを撤去回収し、回収したスキマーは、洗浄しプールサイド清掃終了後取り付け。
- (4) 上屋壁面
プールサイド床面より高さ2m程度の構造鉄骨、胴縁、タオル掛を形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
- (5) プールサイド
ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
イ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液（濃度100ppm程度）を均一散布し、圧流水で流し、残留水を除去して仕上げる（以下「殺菌洗浄」という）。
- (6) プールサイド排水溝
形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
- (7) 洗体設備
ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
イ 腰洗槽及びフートバスは、残留水を除去して仕上げる。
- (8) オーバーフロー
ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
イ デッキレベル型オーバーフローは、可能であればグレーチングを取り外して殺菌洗浄する。
（ア）グレーチングを止めてあるビス等を取外し、設置場所がわかるよう分類して保管する。
（イ）グレーチングを取外し、その裏面に番号を書きこむ。
（ウ）形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
（エ）グレーチング裏面の番号どおり取り付け。
（オ）設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。
- (9) プール本体（壁面）
ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
イ リセス型等低水位オーバーフロー設置校は、残留水を除去して仕上げる。

(10) プール本体（底面）

- ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄し、残留水を集水マスへ落とし込む。逆流する場合は、残水処理装置等を用いて除去する。
- イ 底面陥没等により残留水が滞留する場合は、残水処理装置等を用いて除去する。
- ウ 水位調整貯水槽に冬期間中の滞留水が貯水槽内にある場合は、揚水ポンプを用いて排出する（水位調整貯水槽設置校のみ）。
- エ 水位調整貯水槽を形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、残留水を揚水ポンプを用いて排出する（水位調整貯水槽設置校のみ）。
- オ 水位調整貯水槽の砂溜り部分の残留物を、湿式掃除機等で除去する（水位調整貯水槽設置校のみ）。

(11) 集水マス

- ア 格子蓋を止めてあるネジ等を取外し、設置場所がわかるよう分類して保管する。
- イ 格子蓋を取外し、形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
- ウ 砂溜り部分の土砂及び汚水は、湿式掃除機や揚水ポンプを用いて排出する。
- エ 底面給水方式の場合は、給水管と排水管の分岐点までの管内部を洗浄する。
- オ 格子蓋を取付け、設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。

(12) 底面吐水金具とガーター溝

- ア 底面吐水金具にアルミ箔粘着シール等が貼付されている場合はそれを剥がす。
- イ ガーター溝の滞留水を湿式掃除機や残水処理装置等を用いて除去する。
- ウ ガーター溝にグレーチングがある場合は、グレーチングを取外し作業する。
 - (ア) グレーチングを止めてあるビス等を取外し、設置場所がわかるよう分類して保管する。
 - (イ) グレーチングを取外し、その裏面に番号を書きこむ。
 - (ウ) ガーター溝の滞留水を湿式掃除機や残水処理装置等を用いて除去する。
 - (エ) グレーチング裏面の番号どおり取り付ける。
 - (オ) 設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。

(13) 給水

- 清掃を終了した場合は、次の事項を必要に応じて行い、プール内に委託者が指定する水位まで給水する。
- ア 排水管、循環水管を通水洗浄する。
- イ 貯水に必要な各種バルブを閉鎖する（給水を行わない場合も同様）
- ウ 指定水位にするための水位調整操作を行う。
- エ 満水状態で滞りなく循環ろ過運転ができるための操作を行う。